

# 地球規模でのゼロエミッションを 実現するための豊島産業廃棄物不法投棄 事件の歴史的資料の活用

活動地域 香川県

つづける助成

# 3年目

実践

YouTube動画  
再生回数 **1,268回**

2022年度の資料館  
見学者数 **778人**

今年度計画の達成度 **80%**

全体計画の達成度 **75%**



企業ボランティアの産廃現場見学の様子

## 苦勞した点と工夫した点

### ■苦勞した点

豊島事件を知る世代の高齢化のため、語り部育成が困難だった。新型コロナウイルスにより、海外の見学者受け入れが少なかった。島内建設労働者の高齢化のため、作業人員の確保が困難だった。

### ■工夫した点

語り部の高齢化に対応するため、豊島事件説明のYouTube動画を作成した。海外からの見学者が減少した期間に資料館内部の展示の充実を図り、満足度を高める工夫を行った。

## 課題

①事件の記憶が風化し、意義と教訓が忘れ去られつつある。②過疎化・高齢化により見学者対応が困難になりつつある。③見学施設として使用している建物の老朽化。

## 目標

豊島ライブラリ閲覧者数年間3千人以上。YouTube動画の閲覧数1万回。来島者数の増加と満足度の向上。不法投棄現場見学の運営体制の確立。海外からの見学者来島。

## 活動内容と成果

- ①YouTube動画の作成
- ②イラストアーカイブページの作成…より多くの人に豊島事件について知ってもらうため、アーカイブページのリニューアルと、イラストで豊島事件を説明するページを新規に作成した
- ③産廃不法投棄現場見学者の受け入れ…新型コロナウイルスで豊島の来島者が減ったが、企業ボランティアによる現場見学は以前の数まで戻りつつある。2022年度は3社計7回の企業ボランティアを受け入れ、116人が産廃現場を見学した。資料館見学者数は、前年度を70%上回るレベルまで回復した



動画「すぐにわかる豊島事件」を発表

## 全助成期間の活動を振り返って

豊島事件の教訓は今後の持続可能な社会の実現のために欠かせないものだが、豊島事件を知る世代の住民は高齢化しており、アーカイブ化が喫緊の課題である。一方で、事件から長い年月が経っていることもあり、新しいことを始めるハードルというものが少なからずある。例えば、新たな語り部の育成等、一つ一つ地道に取り組む必要があると感じた。



資料館展示パネルをリニューアル

## 今後の展望

今後の活動の展望は以下の2点である。①豊島事件の継承：豊島事件の教訓を伝える語り部が高齢化しているため、映像に残し、公害調停や無害化処理に立ち会った体験を記録していく。②豊島事件を国内外に広く伝えていくこと：豊島事件の教訓は現代の日本や、廃棄物の不法投棄問題が深刻さを増す途上国においても有効である。アーカイブの多言語化、バーチャルミュージアムの拡充等を通じ、広く国内外に教訓を伝えていく。

〒761-4661  
香川県小豆郡土庄町豊島家浦3837-4  
電話：0879-68-2911  
E-mail：info@olive-foundation.org  
HP：https://www.olive-foundation.org/

